

教育福祉常任委員会行政調査報告

〈学校施設耐震補強工事〉

調査地

神奈川県葉山町

調査項目

耐震補強工事の実際

調査地の概要

平成七年の阪神淡路震災を契機に、公共施設の耐震化に取り組んでいる葉山町を調査した。

葉山町は面積十七km²、人口三万三千人で、東京から五十km、横浜市から二十分くらいで住宅と観光の町として発展している。

【調査のまとめ】

①平成七年度、学校施設を含む公共施設、全二十棟の一次診断を実施。

②平成十二年度から耐震補強工事開始、平成二十四年度終了予定。

③コストのかかる仮設校舎は建設せず、夏休みや施工区域を分けて工事されていた。工期が短縮できる「鉄骨ブレース補強」は有効な工法と思われる。

伯耆町では本年度耐震診断の予定であり、取り組みが遅れている。



鉄骨ブレース補強

〈頑張る地方応援プログラム〉

調査地

神奈川県中井町

調査項目

子育て支援

調査地の概要

中井町では国の頑張る地方応援プログラムの支援を受けて、子育て支援に取り組まれていた。都心から七十km、横浜から四十km圏にあり、面積二十km²、

人口一万二百人で、鉄道はないが、東名栗野中井インターがあり、流通団地、工場立地が進んでおり、地方交付税はわずかに四千万円である。

【調査のまとめ】

①頑張る地方応援プログラムの総額は三年間で一億五千六百万円であるが、これを活用して子育て支援センター、小児医療制度の充実（通院は小学校卒業まで、入院は中学校卒業まで拡大・所得制限、一部負担なし）、放課後児童クラブ、児童の安全確保などの事業が実施されていた。

②伯耆町では、この交付金で企業誘致、特産品開発に取り組んでいるが、中井町では既に東名高速道路沿いに企業立地が進んでおり、発想の違いに感心させられた。